

里浜カーミージーを 未来に残すための 地域発のルールづくり

近年、カーミージー周辺の海の利用者が増えてきました。さらに来年、西洲からカーミージーを通り宜野湾へつながる臨港道路・浦添線～浦添北道路と、カーミージー付近から国道58号線城間交差点に向けた新しい県道・港川線が整備されます。これと同時に、浦添市では西海岸海域を里浜と位置付け、その持続的な保全・活用のための「里浜条例」を準備しています。そこで、今回の円卓会議では、カーミージーを中心とした里浜活動や、海の保全・活用と自然環境の変化について、多くの皆さんと客観的な情報を共有し、カーミージー周辺の具体的な海の保全・活用のルール作りについて、意見交換を行います。浦添の海に関心を持つ多くの皆様のご参加をお待ちしております！

【論点提供者】 銘苺 全郎 氏（浦添市港川自治会 会長）

港川自治会の地域づくりの活動として始まった里浜活動は、小学校の環境学習のサポートを通して臨港道路・浦添線の一部橋梁化に発展し、里浜を保全しながら活用する試みは14年目です。市条例までたどりつきました。西海岸道路の開通による利用者のさらなる増加も予想され、今後は港川地域を超えた市民全体の取り組みが必要となります。市民のみなさんや関係者、専門家の方々と一緒に、里浜の保全・活用のルールを考えていきたいと思っております。

■ プログラム 12月3日（日）

- 13:30 オープニング ～あいさつ～
- 13:35 地域円卓会議について
- 13:45 論点提供
里浜カーミージーを 未来に残すための
地域発のルールづくり
- 13:55 セッションⅠ（着席者紹介と、情報共有）
- 15:00 サブセッション（会場全体で意見交換、休憩）
- 15:30 セッションⅡ（意見発表と、まとめ）
- 16:00 終了予定

■ 着席者

- 銘苺 全郎 氏 論点提供者
（浦添市港川自治会 会長）
- 下地 節於 氏（浦添市企画部 部長）
- 銘苺 健 氏（港川小学校 校長）
- 伊禮 由紀子 氏（沖縄タイムス 記者）
- 笹尾 修司 氏（笹尾商工（株） 会長）
- 鹿谷 麻夕 氏（しかたに自然案内 代表）

司会進行：平良 斗星 氏（公益財団法人 みらいファンド沖縄 副理事長）
記録者：宮道 喜一 氏（NPO法人 まちなか研究所わくわく 事務局長）

Fax. 送信先:098-876-5855

※ ファックスでお申し込みの方は、こちらの書式をご利用ください。

ご所属 _____

役職 _____

ご氏名 _____

メールアドレスまたは電話番号 _____